

# 分会情報

J R 東海労大阪仕業検査車両所分会  
No.157 2016.7.28  
発行責任者 松本 幸一  
編集責任者 教 宣 部

## 言っていることが毎日変わる、高橋科長！！ そのため、現場は大混乱！！

7月5日、午前、大阪仕業検査車両所で仕業・申告詰所に来た高橋慎一検修科長は、詰所で夏服の長袖のボタンを外していたI社員に対していきなり、「作業に行くときはボタンを留めなさい」と言ってきました。I社員は「わかりました」と言って了解し、現場のみんなにこのことを伝えました。

7月6日、14:30頃、また高橋科長が現場詰所に現れ、上着のボタンを外していたW社員に対して、「作業に行くときはボタンをちゃんとしてくれ」と言ってきました。W社員はI社員からこのことを聞いていたので、「わかりました。現場に行くときはちゃんとします」と答えました。

しかし、翌日7月7日、13:30頃、また高橋科長が現場詰所に現れ、W社員に対して、いきなり「第二ボタンを留めなさい」と怒鳴ってきました。W社員は「現場に行く時だけは、ちゃんとしていたらいいんじゃないですか？」と聞いても高橋科長は「ダメだ」と言うだけで明確な答えはありませんでした。

## なぜ一日で変わったのでしょうか？

### 間違っているのが、言うことを利かす！まさにパワーハラです！

7月18日、14:00頃、また高橋科長が現場詰所に現れ、作業終了後に汗もかき、暑いため上着を脱いでいたW社員に対していきなり「服を着なさい！」と怒鳴ってきました。W社員は「暑いから脱いでいます」と説明しても、高橋科長は聞く耳を持たず「詰所では服を脱いではダメだ！」と恐るべき言葉を発しました。

もう見境がないというしかありません。どこにそんな決まりがあるのでしょうか？  
今までどの管理者からも言われたことはありません。

会社は熱中症対策として水分補給や塩熱サプリ、冷却グッズも配布し取り組んでいます。しかし、高橋科長の言動は全く反対の行為です。暑い現場で作業してきた社員の労をねぎらうどころか、自分の間違った考えを押し付け、熱中症でもさせたいのでしょうか？！

### 私たちは高橋科長の間違った言動を改めさせるために、

聞き取りやすく、はっきりとした言葉で声を上げていきます！！